



目標金額：10,000万円
計画期間：2025年3月31日

丸岡城の天守は江戸時代以前に建設され、現存十二天守と呼ばれる貴重な天守で国の重要文化財に指定されています。周辺の公園・広場・観光情報センター・歴史民俗資料館は、昭和時代から段階的に整備されたため地域からも改修の声があがっています。

■事業内容 丸岡観光情報センター移転整備

昭和53年（1978年）に建築された丸岡観光情報センターは、老朽化が激しく耐震性も無いことから霞ヶ城公園北側から南東側に移転新築させ、天守と一体になって丸岡城の情報発信の拠点として活用していきます。

天守と現代建築の調和、天守が美しく見えるたたずまい、天守への眺望・天守からの眺望など天守との強い関係性を表現できる環境の整備を進めます。センターでは、地域住民はもちろんのこと全国のお城ファンが立ち寄る観光拠点の役割となり重要な施設となります。

2024年は、丸岡藩が誕生して400年にあたる節目の年となっており、記念イベントとして10月「お城EXPO」を開催します。歴史学者をお招きして講演会やトークショーのほか、同日開催している「古城まつり」では甲冑行列・火縄銃演舞などが行われます。

坂井市

福井県

坂井市は、福井県の北部に位置し、九頭竜川の恵みがもたらす坂井平野では一面の美しい緑と輝く稲穂が広がり、「いちほまれ、コシヒカリ、ハナエチゼン」などの水稻栽培がおこなわれています。その他、若狭牛、甘えび、越前がに、花らっきょう、越前そば、油揚げなど豊かな食に恵まれており、地場産業である越前織による織ネームは国内シェアの80%を占めています。また、日本海北陸を代表する名勝「東尋坊」の絶景、武骨で気高くそびえる現存十二天守の1つ「丸岡城」などの観光地を有しています。